

10 福祉人材の育成 ～「品川福祉カレッジ」の充実～

現状

品川区では、これまで「在宅介護支援センターを核とした在宅介護支援システム」を整備してきた。区民が安心して介護サービスを活用しながら在宅生活を継続するためには、ケアマネジャーやホームヘルパーの量の確保とともに、質の向上が求められている。

このような視点から、平成12年度の介護保険制度導入と同時に「品川区介護サービス向上委員会」を設置し、12年度は訪問介護・訪問入浴、13年度はケアマネジメントのサービス評価を行い、サービス向上のしくみづくりについて検討を行った。その答申の中で、組織的な研修の必要性や、管理者クラスのケアマネジャー、主任ヘルパー等の育成支援等、福祉人材の育成が特に重要であると提言されている。

そこで、従来から行ってきた各種研修を改めて再編・充実し、品川介護福祉専門学校の機能とネットワークを活かし、介護サービス従事者の専門性・実践力の向上を図るため、品川区の福祉人材の育成拠点として、平成14年度に「品川福祉カレッジ」を開校した。

「品川福祉カレッジ」の一層の充実を図り、実践性の高いカリキュラムによって、地域特性に適った再教育を行い、人材の育成を図っていく。

「福祉カレッジ」のコース

ケアマネジメントコース	品川区の在宅介護支援システムにおいて、利用者主体の効果的・効率的なケアマネジメントの提供と、広範なケアネットワークづくりを可能にする質の高いケアマネジャー育成のためのカリキュラム。
主任ヘルパーコース	利用者主体の的確な訪問介護計画のもと、スタッフヘルパーを指導監督し、良質な訪問介護・入浴サービスを提供することのできる主任ヘルパー（サービス提供責任者）育成のためのカリキュラム。
オプション講座 ケアマネジメント 事例検討	日々の業務に直結する主として困難事例の検討を継続的に行い、アセスメント、ケアプラン、カンファレンス、効果測定能力の一層の向上を図る。
オプション講座 介護現場に役立つ 医療知識	高齢者が罹患しやすい疾病や特定疾病、リハビリテーションに関する基礎知識とともに、在宅における疾病予防・ケアの留意点、実際に学ぶ。
特別講義	介護サービス業務に携わっている方を対象に、共通に求められる知識・情報を選んで講義（痴呆性高齢者のケア、口腔のケア、住宅改修と福祉用具の活用等）。
区民公開講座	区民を対象に、地域福祉に関するテーマ、タイムリーな話題の講座（成年後見制度、コミュニティケア等）。